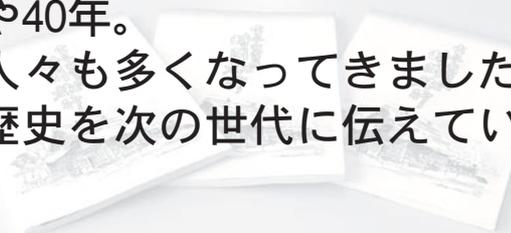


# 地域の歴史を 次の世代に伝える

旧手稲町が札幌市と合併してはや40年。  
古き良き「ていね」を知らない人々も多くなってきました。  
今月号では、手稲区内で地域の歴史を次の世代に伝えていこう  
という取り組みをご紹介します。

山形物語  
山口香織編著

山形物語



郷土誌

## 富丘・西宮の沢時間旅行



▲『時間旅行』を編集した  
竹谷晋一さん

富丘には、その昔高級温泉  
旅館や精油所があったことを  
ご存じですか。

昨年発行された郷土誌『富  
丘・西宮の沢時間旅行』には、  
このような話が数多く掲載さ  
れています。

この本は富丘・西宮の沢地  
区を中心とした手稲の開拓の  
歴史や農業・商業・工業の様  
子を詳細に記録しただけでは  
なく、手稲の動植物の紹介な  
ども盛り込んだ全112ページの  
郷土誌です。

この本の編集の中心となっ  
ていた富丘・西宮の沢地区青  
少年育成委員会の竹谷会長は、  
「富丘・西宮の沢地区には昔  
から住んでいる方も多く、会

合のたびに昔の話をよく聞いて  
いました。その中には自分  
自身が初耳だったものも多か  
ったことから、話を聞くだけ  
ではなく記録として本に残し  
たいと思いました」と、郷土  
誌を作るきっかけを話します。

竹谷さんたちは富丘・西宮  
の沢の歴史を子どもたちに伝  
えるため、小学校の「総合学  
習」の授業でも教材として使  
える内容となることを考えな  
がら、一昨年の6月に編集を  
開始しました。作業を進めて  
いく中で資料集めや原稿の校  
正には地域の小学校の校長先  
生方に参加していただき、ま  
た、表紙や挿絵も地域の皆さ  
んに協力していただいて、昨  
年の4月によく完成しま  
した。

竹谷さんは、「この『富丘  
・西宮の沢時間旅行』は、地  
区内の小学校の各学級文庫に  
入れてもらっていますので、  
子どもたちが手に取ってくれ  
ればうれしいですね。子ども  
たちが学校で手稲のことを勉  
強して、大人になったときに  
は、また自分たちの子どもに

郷土誌

『富丘・西宮の沢時間旅行』  
をご希望の方は

富丘西宮の沢まちづくりセンター  
(富丘2条2丁目

☎ 685-4745)

までお問い合わせください(有償)。



▲本文内には写真や挿絵を数多く掲載  
しています

語り継いでくれるでしょう」と  
話してくれました。